



今年も
よろしく
お願いします

びすけっと

217号—2021年1月—

埼玉県立小児医療センター

血液・腫瘍科

親の会 びすけっと

もっとみなさんにつながれるように…
Instagram始めました!

https://www.instagram.com/biscuit_oyanokai/



🌱がんの子どもを守る会 web 講演会

「小児がん患児・経験者のアピランスケア～ちょっと心が軽くなる外見ケアのお話～」

国立がん研究センター中央病院 アピランス支援センター長
野澤桂子先生

先生のお話をお聞きして、小児がん経験者の多くの人が悩む外見の問題の本質は、社会との関係性の問題であるということに目からうろこが落ちたような気がしました。しかし、人は社会との関係性の中で生きているので、どう自分らしく居心地良く生活するかは大きな問題です。多様性の尊重が言われる今、小児がんの経験も自分の個性の一つと自他共に受け止められるようになるといいなと思いました。

以下に概要をお伝えします。詳しい内容は後日がんの子どもを守る会の機関誌「のぞみ」に掲載予定ですので、掲載時に改めてお知らせします。(柳戸)

小児がんの治療後の外見の変化は7割以上の方が体験している。よく見られるのが抗がん剤の影響による脱毛や皮膚・爪などの変化、手術の跡など。外見に対するこだわりには個人差がある。野澤先生の経験では、5歳でアイドル志望の女の子が脱毛を心配して、治療を受け入れるのに様々な配慮が必要だったことがあった。

アピランスケアについては都市伝説が多く、シャンプー・石鹸・保湿剤・化粧品などで敏感肌用と表示されている物があるが、肌に優しいなどの基準は業界には無く、イメージの問題である。

医療者向けのアピランスケアに関するガイドラインをMindsガイドラインライブラリで見ることができる。*調査の結果、はっきりした根拠のある物は50項目中5項目程度だった。(次号につづく)

*がん患者に対するアピランスケアの手引き 2016年版

<https://minds.jcqh.or.jp/n/med/4/med0245/G0000895/0006>

アピランスケア→



🌱NPO 法人血液情報広場・つばさ 2020年特集セミナー

「基本から学ぼう&じっくり考えよう 急性リンパ性白血病」

国立成育医療センターの加藤先生のお話で、正常細胞にもダメージを与える治療は晩期合併症との兼ね合いで治療を強化することに限界があるが、今は分子標的薬や免疫医薬など副作用の少ない治療が研究されていること、薬の代謝の個人差も考えて治療する必要があること、心理的・社会的な支援も必要なこと、いろいろな「がまん」を減らす取り組みがされていることなどが印象的でした。

経験者からは、ホルモン補充療法によって体力が付き気力も充実した経験や、退院後も外見からはわからない体の辛さがあるが自分の病気について知ることが力になっているというお話などがありました。

北里大学病院の高野先生からは、脳神経の働きや血圧維持に必要なホルモンや、肝臓の脂肪を分解して利用するためにも成長ホルモンが必要なことなどのお話がありました。(柳戸)

YouTubeで動画が配信される予定です。

<https://www.youtube.com/channel/UCiHgaJ-gOcMlenYixI-OtcQ>

つばさチャンネル→



🌱キープ・ママ・スマイリング オンライン面会用スマートフォン無償貸与について

詳しくはこちらをご覧ください。 <https://momsmile.jp/5553/>

キープ・ママ・スマイリング→



次回のびすけっとは、**2/9 (火) 11:00~**

相談室B (2F 総合受付奥)

びすけっと連絡先：代表 柳戸 民子

〒350-2224 鶴ヶ島市町屋112-5

TEL 049-271-4708 (留守電)

e-mail yanagido@t.zaq.jp

※びすけっとの参加のためだけに病院に来られた場合、以下の点にご注意下さい。

- ・駐車料金は一般料金になりますので、病院外の駐車場をご利用することをおすすめします。
- ・入館時の健康チェックシートは、外来・面会用ではなく、職員専用通路内にある来客・業者用をご使用ください。

※変更の場合があるため、来る前にインスタやLINEで確認してね。

柳戸LINE、QRコード
ラインでのご連絡もOK!

